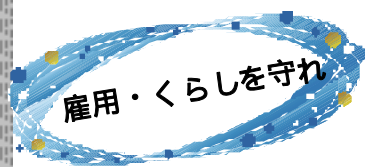


内需拡大、景気回復を



国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 坂本公則



労働者の平均年収は1997年をピークに59万円も減少しています。年収200万円未満の人が1000万人を超え、低賃金で不安定な非正規雇用が4割近くを占めています。「貯蓄なし世帯」は3割に。生活保護受給者は215万人にのぼり、

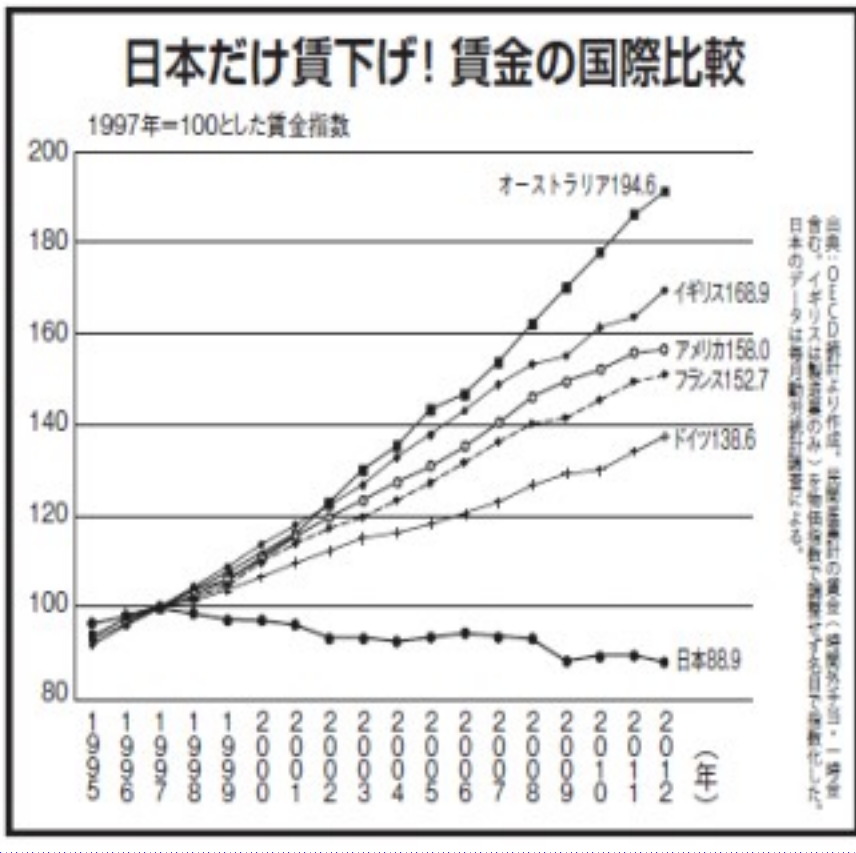
実態調査から見えるものは

国労本部は2013年度「賃金と生活実態アンケート調査」(2013年8月25日〜31日)及び「家計簿調査」(2013年9月分)を行い冊子を作成し全組合員へ配布を行いました。

就学援助制度、奨学金の利用も増えています。非正規雇用の拡大と賃金下落は、生活苦をまねき、消費は冷え込みモノが売れず、物価は下落し、さらなる賃金引き下げがおこる。「賃金デフレ」の悪循環が長引く不況の原因です。

6%増加していることと。3万円1円以上、4万円までを除く、3万円、5万円、6万円の項目全てで昨年より増加しています。集計された2013年度平均要求額は5万8015円(昨年比5741円増)の結果となり、年々上昇傾向にあると言え、生活改善課題は、「安心して生活が保障される賃金を」と取り組み強化が求められます。

項目	2012年度の調査内容	2013年度の調査内容
年齢	53.5才	54.3才
勤続年数	33.7才	34.5才
家族構成	3.2人	3.2人
子供の成長段階	①乳児、②小学、③中学	①乳児、②小学、③中学
専業主婦	2.5%、専業主婦115人、専業主婦1人、自動車1人	2.2%、専業主婦95人、専業主婦10人、自動車1人
「会社」の収入のみ	47.3%	44.2%
配偶者の収入	104,481円(45.4%)	102,099円(45.5%)
配偶者以外の家族の収入	82,070円(39.6%)	79,454円(39.2%)
居住する住宅の種類	①特等賃貸中、②特等賃貸、③社宅	①特等賃貸中、②特等賃貸、③社宅
住宅ローン借入率(借入済)	1,142,981円(43.7%)	1,151,063円(43.9%)
等級別の分帯順位	5.6.4.3.2.7等級	5.6.4.3.2.1.7等級
基本給	321,407円	321,421円
(第二基本給)	(51,966円)	(60,970円)
都市手当	14,490円	15,740円
扶養手当	9,920円	9,612円
基本内賃金の計	345,817円	346,773円
基本外賃金	58,623円	58,146円
賃金支払額の計	404,350円	407,662円
控除額の計	152,411円	156,720円
差引手取額	251,931円	250,777円
毎月節約している内容	①外食、②衣類購入、③旅行、④小遣い、⑤娯楽・娯楽、⑥交際費、⑦耐久消費財、⑧嗜好品、⑨娯楽	①外食、②旅行、③衣類購入、④小遣い、⑤娯楽・娯楽、⑥交際費、⑦耐久消費財、⑧嗜好品、⑨消費、⑩娯楽
何らかの「借金」あり	①住宅ローン、②耐久消費財、③生活費	①住宅ローン、②耐久消費財、③生活費
貯蓄の目的別順位	①老後資金、②納付金、③教育費	①老後資金、②納付金、③教育費
夏季手当の支出内容	①生活費の増減、②娯・娯、③娯金返済、④小遣い、⑤衣類購入、⑥旅行、⑦教育費、⑧耐久消費財	①生活費の増減、②娯・娯、③娯金返済、④小遣い、⑤衣類購入、⑥旅行、⑦耐久消費財、⑧娯費
何らかの「赤字」あり	36,744円(63.27%)、3,036名	37,112円(63.4%)、3,022名
「赤字」の解消方法	期末手当 65.4%、貯金 76.3%	期末手当 83.2%、貯金 75.6%
生活の満足度	満足 0.7%、不満足 22.9%	満足 1.1%、不満足 22.7%
生活の改善課題	①年金問題、②税金増徴、③労働条件、④借金返済、⑤特等問題、⑥老年経済、⑦医療問題、⑧小遣い・交際費、⑨教育問題、⑩娯楽問題	①年金問題、②税金増徴、③労働条件、④借金返済、⑤特等問題、⑥老年経済、⑦医療問題、⑧小遣い・交際費、⑨娯楽問題、⑩教育問題
【春闘】での賃金引き上げ要求額		
第1位	6万円以上(27.2%)	6万円以上(28.8%)
第2位	3万円まで(17.8%)	3万円まで(18.5%)
第3位	5万円まで(17.0%)	5万円まで(17.6%)
全国組合員の平均要求額	52,274円	58,015円
(回答者数)	(4,825名)	(4,795名)



生活実態調査について(国鉄労働組合)冊子が完成しました。合わせて2013年度家計簿調査「感想・意見」が掲載されましたものを一部紹介します。

JR東日本勤務関係者より

今年の4月より子供への仕送りが始まり毎月赤字の状況です。学費や自動車保険、税金、毎月の赤字分はボーナス及び預貯金でカバーしています。

子供の仕送りが無くなり少しは楽になったと思いましたが、今後は家の修繕等がかかりそうです。4月からは消費税増税、給料は上がる予定がない。今、何とか生活しているのは健康で働けるからと感謝しています。病気になるのも安心して生活出来る世の中になるのが一番です。

今、教育費が一番かかるのですが、55歳からお給料が下がって大変です。貯金を崩しての生活ですが、その貯金も底を尽きました。

子供達は成人したので一安心と思っていたが、今度は自分たちの医療費や親の介護等の支出が多くなり、これから不安です。改めて使い方を考えたいと思います。

毎月タギリギリ生活です。マイナスにならないように食費を切り詰めています。

もう少し食品を減らす努力を!